

具体的施策個別事例

様式2

「北海道公共事業コスト構造改善プログラム」
【 施策名：地域の実情にあった計画・設計の見直し 】

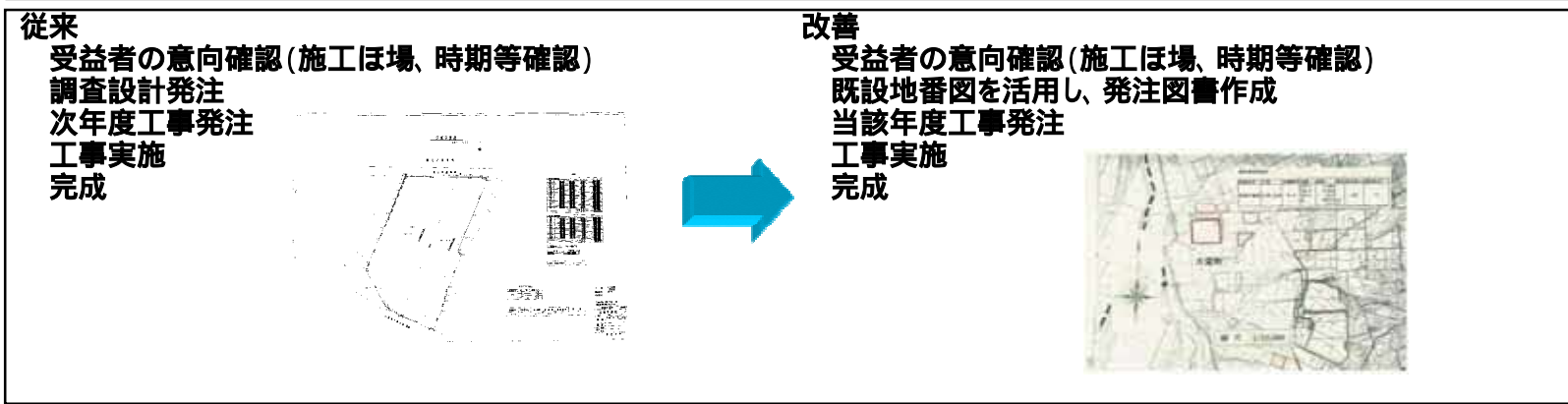
既存地番図を活用した心土破碎工事

事業名：道営畑地帯総合整備事業
概要：事前に調査設計により施工ほ場の区域測量を行い、図面（縮尺1/1000）を作成し、区域平面図を設計図書として工事発注を実施。
調査設計をかけずに、発注者自ら既存の地番合成図（縮尺1/5000～1/10000）を元に発注用設計図を作成し、施工区域・施工面積を概数扱いとして工事発注を実施。

効果

- ・受益者の負担軽減
- ・公共事業費の削減に伴い、受益者の施工要望量を実施できない現状があるが、コスト削減が図られ、少しでも要望量の実施が可能となる。
- ・調査設計を実施しないことから、営農計画等の変更に伴い、急な実施要望があった場合、早急な対応ができ、工事発注が可能となる。

調査設計費を **21,236千円** から **0円** に削減
(削減額 **21,236千円**、削減率 **100%**)



具体的施策個別事例

様式2

「北海道公共事業コスト構造改善プログラム」

【施策名：【1】計画・設計の最適化 設計方法の最適化】

岩盤接着工法による落石発生源対策

工事名or事業名：北浜地区2 復旧治山工事

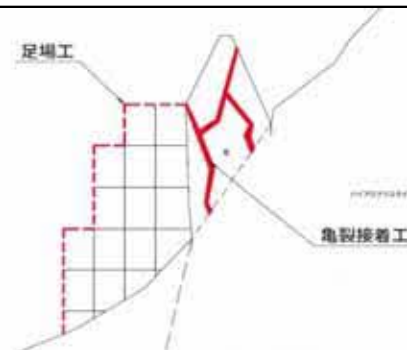
概要：脆くなった岩峰からの落石を防止する工事において、従来の「法切工+法枠工」ではなく、非掘削工法である「岩盤接着工法」を採用した。

効果：独立峰となっている風化岩からの落石対策で、従来の方法では人力による大規模な法切となり施工と残土処理に費用がかかるところ、岩盤接着工法により法切を行わずに施工できるため、大幅な低コスト化と作業の安全性の向上が可能となった。

従来工法 56,434千円/工区 岩盤接着工法 16,124千円/工区
(縮減額 40,310千円 71%減額)



従来工法(人力法切+法枠工)



岩盤接着工法



現地岩峰

具体的施策個別事例

様式2

「北海道公共事業コスト構造改善プログラム」
【施策名：（ ）計画・設計・施工の最適化【4】民間技術の積極的な活用】

砂防工事における「INSEM-SBウォール工法」の採用

工事名：沼の沢川砂防工事1工区

概要：砂防工事において、これまでの**コンクリート**ではなく、セメントと土砂を混合した材料(INSEM材)を中詰めした「**INSEM-SBウォール工法**」を採用。

効果：現地で発生する土砂を堤体材料として利用できるため、材料費および残土の運搬費が削減でき低コスト化を図ることが可能となった。

コンクリート工法 **73百万円** INSEM-SBウォール工法 **50百万円**
(**縮減額 23百万円、縮減率32%**)

従来のコンクリート工による施工



残土の運搬

コンクリートによる施工



INSEM-SBウォール工法



土砂とセメントの混合



中詰め

具体的施策個別事例

様式2

「北海道公共事業コスト構造改善プログラム」
【施策名：（ ）計画・設計・施工の最適化【4】民間技術の積極的な活用】

既設コンクリートの現場内再利用

工事名：ヌッチ川改修工事1工区
概要：再利用不可能な既設連節ブロックを現場にて破砕し、築堤天端敷砂利として再利用

効果
産業廃棄物の減量と新規資材購入の抑制
現場使用可能なバックホウアタッチメント型により、既設ブロック147m³を破砕し、築堤天端敷砂利資材として再利用。
構造物撤去及び天端敷砂利工事費を、2.3百万円から1.5百万円に縮減。
(縮減額 0.8百万円、縮減率35%)

